

子ども向け

福祉の耳より

だより

ふくみみ

ナンバー No.3

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会

〒270-1325
印西市竹袋614-9 印西市総合福祉センター内

☎0476-42-0294

☎0476-42-0338

✉E-mail info@inzaishakyo.jp

🌐URL http://www.inzaishakyo.jp

盲導犬・介助犬・聴導犬 補助犬について知ろう！

みなさんは、人のお手伝いをする犬を知っていますか？

今回の『ふくみみ』は、目や体、耳の不自由な人のためにはたらく、補助犬たちを紹介しします！



補助犬の中では、盲人のために、ドアを開けたり閉めたり、落とす。また、聴導犬も補助犬の一つです。

ここでは、それぞれ補助犬のしごとの内容を紹介します。

はじめに、盲導犬のしごとは、目の不自由な人が行きたいところに出かけられるように、道路の障害物を避けたり、階段や角を教えたりしながら、安全に歩くことができます。うお手伝いをします。

つぎに、介助犬のしごとは、体の不自由な

盲導犬が体につけている白いひもをハーネスと呼びます。

ハーネスは盲導犬のシンボル！

最後に、聴導犬のしごとは、耳の不自由な人にタッチなどをして、音を知らせて生活のお手伝いをします。

聴導犬は、めざまし時計の音や、ドアのチャイムの音などを覚えることができます。おす。(びつくりです。)

このように、さまざまな生活のお手伝いをする補助犬ですが、どんな犬で

も簡単になれるわけはありません。

訓練士(犬に、しつけや動きを教える人)によつて、お手伝いのやり方などを教わり、ユーザーさん(補助犬を必要としている人)に合わせた、お手伝いの内容を覚えていきます。

ユーザーさんのところに行くまで、大変な訓練をしているのです。

また、補助犬は、ユーザーさんと一緒に生活しています。

お店にいつしよに入ったり、電車に乗ったりすることもできるようなってしまいます。お手伝いのあいだは、ハーネス(盲導犬がつけている白いひも)などを付けて、いつしよに行動します。

このように、体の不自由な人の支えに

なつてはたらく補助犬。

まちで補助犬といつしよにいる人が、何か困つている様子を見かけた時は、声をかけお手伝いが必要か聞いてみて下さい。

補助犬はとてもお利口で、かわいいので、ふれあいたくならないと思いが、ハーネスをつけている時、補助犬はしごとなつていて、必ずユーザーさんにふれてもよいかどうか聞いてみて下さい。また、声をかけたり、食べ物あげたりしないで下さいね。



一歩おうちのひとと、いつしよによんでみましよう！

ふくみみ

トピックス

地域と小学校の交流を
紹介します!!



げんきに歌ってくれました♪



おはなしがはずんでいます♪



マジックショーにでたよ♪

木下茶友会

←おなじみのかんばん♪

木下支部主催 **木** **下** **茶** **友** **会**

6月8日(火) 場所/木下コスモスセンター

木下支部では、地区の4か所をまわり、お年寄の方に楽しんでもらうため、木下茶友会を行っています。
木下コスモスセンターが会場の際は、木下小学校の児童のみなさんが訪問、いつも元気な歌声と
楽しいふれあいの時間を届けてくれます。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました!!

夏休み1日体験 参加者募集中!

盲導犬とふれあおう!!

7月27日(火)開催 小学校5年生・6年生対象

盲導犬を普及させる会のご協力により、ユーザーさんと盲導犬をお招きします。目の不自由な方の生活や、盲導犬について、お話を聞いてみませんか? みなさんのご参加をおまちしています!

日にち 平成22年 7月27日(火曜日)

時間 9:30~12:30まで

場所 印西市総合福祉センター

参加費 100円

定員 30名(先着順)

申し込み 印西市社会福祉協議会

TEL/0476-42-0294

【ふくみみ】ってなに? ・みみたぶのおおきいみみ ・しあわせをはこぶみみ ・しあわせがあらわれているみみ...をいいます。